

セボネ

タガヤ ランティア ネットワーク
Setagaya Volunteer Network

特集

P.2-5

『遊べ！ おとなたち～「冒険遊び場」「雑居まつり」
「自主保育」ともに歩んだ50年』開催レポート



「遊べ！ おとなたち」イベント終了後の集合写真。当時関わっていた人たちなども多く来場し、会場は熱気に包まれていました。

まちの市民力

P.6

～被災写真をボランティアの力で救う～ 課外のあらいぐま



地域障害者相談支援センター
ほーとせたがや活動レポート

P.7

世田谷エリア自立支援協議会主催シンポジウムの報告



おたがいさまビュー

P.8-P.11

【第一報】北沢ボランティアビューロー改修工事に伴う長期休館のお知らせ
<ミニレポート>世田谷区主催「ボランティアセミナー&相談会」に登壇しました！
ボランティア募集、講座・イベント・その他お知らせ

「遊べ！ おとなたち」 「冒険遊び場」 「雑居まつり」 「自主保育」 ともに歩んだ50年」 開催レポート

2025年6月21日、キャロットタワー生活工房にて、認定NPO法人プレーパークせたがやの総会イベント「遊べ！ おとなたち」「冒険遊び場」「雑居まつり」「自主保育」ともに歩んだ50年」が開催されました。

このイベントは、1975年前後、小田急線梅ヶ丘駅・経堂駅の区間でほぼ同時期に始まった、「自分たちの生活課題は自分たちの手で！」という住民自治を前提とした、今に続く当時全く新しい3つの市民活動が、この50年の間にどう変化し、なにを変えまいとしてきたか、「遊ぶ」



「自治」をキーワードに掘り下げようとしたものです。

第一部は、冒険遊び場・雑居まつり・自主保育に関わる方々それぞれが50年前を振り返り、誕生に至る経過を報告しました。

■冒険遊び場

最初は、経堂や桜丘での試行的取り組みの段階から関わってきた齋藤啓子さんと三浦幸雄さんから、冒険遊び場誕生にまつわるお話です。

* * *

1970年代、高度経済成長期の日本では、子どもたちの遊び場が急速に失われていました。大村虔一さん・瑋子さん夫妻は、この状況に危機感を抱き、ヨーロッパの冒険遊び場に触発され、新しい遊び場づくりに取り組みました。

日本での冒険遊び場の始まりは、1975年、経堂の緑道予定地での夏季限定の遊び場でした。

文責／市川 徹（セボネ編集委員）

その後1977年、桜丘の区民センター予定地に移して遊び場を運営しました。ここでは多数の大学生が参加し、子どもたちと共に遊び場づくりを行いました。特徴的だったのは、子どもたちが自由に小屋を建て、遊びのルールを自分たちで作り上げたことです。多い時には数十軒の小屋が建てられ、子どもたちの間で破壊と復元を繰り返すドラマが日常的に展開されていました。

運営資金は、地域住民による廃品回収で賄われました。トラック



写真左から齋藤啓子さん、三浦幸雄さん、天野秀昭さん

2台分の物資が集まり、当時の金額で5万円の収入を得たこともあり。水道代や電気代などの基本的なインフラ費用をこのような創意工夫で賄いました。運営に関わっていたのは、幼稚園・小学校の保護者、地域の商店街の人々、多くの学生たちでした。ヨーロッパの遊び場の写真を見て、「自分たちの子どもにも同じような体験をさせたい」という思いから参加するようになりました。

15ヶ月後、土地は区に返還され、その後羽根木プレーパークへと発展していきます。この過程で、国際児童年（1979年）を契機に、



宮前武夫さんのインタビュー動画を見る、左が近藤浩さん

世田谷区は冒険遊び場を記念事業として採択しました。この冒険遊び場の取り組みは、従来の行政主導ではなく、住民自身の手で課題を解決しようとする自治の精神に基づいていました。経済活動の周縁にいた専業主婦や学生たちが、子どもの遊び場という社会的課題に自発的に取り組んだ先駆的な運動だったのです。

■雑居まつり

次に、雑居まつりの立ち上げの経緯について、初期の頃から事務局として関わっている近藤浩さんからのお話です。

* * *

雑居まつりは、1970年代後半に世田谷で始まった地域のお祭りです。その特徴は、障害者と健常者が共に創り上げるところにありました。中心的な役割を果たしたのは、宮前武夫さんと澤畑勉さんの2人です。宮前さんは脳性麻痺で車いす生活でしたが、「障害者もまちで暮らしたい」という強い信念をもっており、障害者は施設に入所することが多かった当時では、非常に革新的なものでした。

澤畑さんは児童館職員でありながら世田谷ボランティア連絡協議会（通称「世ボ連」）を立ち上げ、区内の様々な活動団体のネットワークを構築しました。特に若者の参加を積極的に促し、以後の雑居まつりの継続的な発展に貢献しました。

雑居まつりの特徴は、障害の有無に関わらず、すべての人が対等に参加できる点でした。宮前さん自身が率先して住民運動の先頭に立ち、雑居まつりの企画・運営に関わりました。当時、障害者自身が主体的に活動することは、社会的に大きな衝撃を与えました。雑居まつりの運営には、2人以外の多くの実行委員メンバーも、ごみ回収のしくみや雑居まつり宣言の横断幕といった様々なアイデアを出し合い、運営の継続に重要な役割を果たしました。

雑居まつりは今年で50回を数え、地域に根付いたイベントとなりました。雑居まつりは、単なるお祭りではなく、社会包摂と共生の理念を実践する場でした。障害者、健常者、子ども、大人が分け隔てなく交流し、互いを理解し合

う機会を提供しました。この活動は、当時の社会に大きな問題提起をしました。「障害者は支援される存在」という従来の概念を覆し、障害者が主体的に社会参画できることを示したのです。

■自主保育

最後は、自主保育ひろばOBの岩崎リリ子さんから、自主保育と自主ようちえんひろばの誕生にまつわるお話です。

* * *

自主保育は、1976年に矢郷恵子さんが世田谷区報で「野外で子育てしませんか？」と呼びかけたのが始まりです。子育て中の女性の解放を目指す全国ネット



自主保育ひろばOBの岩崎リリ子さん

ワーク「あんふぁんて」の影響を受けたものでした。活動は当初、週1回、羽根木公園に弁当持参で集まり、母親たちが子育ての悩みや日常を語りながら仲間作りをするところからスタートしました。

1977年には当番制保育を導入し、子どもたちの成長に合わせて活動内容も柔軟に変化させていきました。1978年に「ひろば」と名付けられ、ちょうど同時期に冒険遊び場準備委員会が立ち上がり、羽根木公園に禁止事項が増えていくことに残念な思いを抱いていたひろばもこの準備委員会に参加します。そして1979年、ひろばの子どもたちが就園時期を迎えたことを機に、自主保育の延長として「自主ようちえんひろば」を開園、ほぼ同時期に羽根木プレーパークも常時開園となり、ひろばは活動の拠点を羽根木公園内の梅林からプレーパークへと移していきました。

羽根木プレーパークの充実と共に、様々な保育グループが生まれ、矢郷さんは「新しい保育を考える会」を発足させ、グループ間の連携も生まれました。1980年に

はひろばから初めての卒園生を送り出し、1981年には既存の保育に疑問を持つ保育者も加わり、活動はさらにダイナミックになりました。特に、保育者や父親が子どもたちと共に行う登山やバーベキューなどの企画は、父親を巻き込む良い機会となりました。

その後、ひろばの活動は次第に社会性を持ち、プレーパークやその他のイベントにも積極的に参加するようになります。ミーティングで月当番や代表を決め、プレーパークの実行委員会に参加するなど、組織としての活動も活発化しました。プレーパークはひろばにとってまさに遊びと学びの場だったのです。

■「遊び心は普遍です!」

第2部は、現在もそれぞれの活動の現場に身を置いている人たちがパネリストとして話し合うパネルディスカッションです。

まずは、どうして活動に関わるようになったのか。多くのパネリストのみなさんは、子育ての孤独感や既存の保育制度への疑問、あるいは新たな刺激を求める中でこ



パネルディスカッション（左から）
ファシリテーター：天野秀昭さん、
プレーパーク：荒木直子さん、小峰真理さん、
雑居まつり実行委員会：橘直之さん、吉田柚香さん、
自主保育ひろば：若崎リリ子さん・福田智子さん・花田朋美さん

これらの活動に出会ったと言います。たとえば、羽根木プレーパーク世話人・荒木直子さんは、子育て中の孤独を感じていた頃、子どもを自由に遊ばせられる場所に惹かれ、その独特な雰囲気には一度は躊躇しつつも世話人となることを決意したそう。また、雑居まつり実行委員会・橘直之さんは、児童館で澤畑さんから雑居まつりのスタッフに誘われたことで、車いす利用者や手話を使う人々が普通に

いる世界に自身の人生観が変わるほどのカルチャーショックを経験したこと。自主保育ひろば・花田朋美さんは、既存の保育園に預けることへの抵抗感や、子どもと大人が共に学べる場を求める中で自主保育に出会ったと言います。

そしてなぜ今も関わり続けているのか。多くのパネリストのみなさんに共通しているのは、「面白いから続けている」という純粋な感覚です。たとえば、世田谷プレーパーク世話人・小峰真理さんは、自身の育児の悩みをプレーカーや世話人に打ち明けた際に受け入れられた経験が継続の大きな理由で、より多くの大人にプレーパークの魅力を知ってもらいたいとのこと。雑居まつり実行委員会・吉田柚香さんは、幼少期から親と参加している自身のルーツ探しに加え、幼少期の楽しい記憶や、小さな子たちを任される「お姉さん」としてのやりがいや継続的な関わりを支えているそう。自主保育ひろば・福田智子さんは、固定観念にとらわれず、様々な価値観を受け入

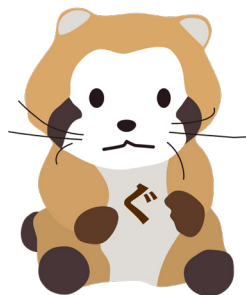
れるプレーパークやひろばの雰囲気や親自身も成長させてくれる場所になっていると言います。

■終わりに

これらの3つの活動は、市民が主体的に地域課題に取り組み、社会を変革できる可能性を示した社会運動であり、子どもの権利、障害者の社会参加、地域コミュニティの再構築など、当時の問題提起は今なお色あせていません。

ファシリテーターの天野秀昭さんは、現代社会において、経済活動が重視される一方で、人と人とのつながりや関係性の質といった、数値化できない価値が見失われがちと指摘し、経済活動とは異なる価値、すなわちお金に換算できない「関係の質」こそが、人の生き方に深く影響を与えると語ります。経済優先の社会で軽視されがちなこの「人の意思による関係性」は、今後時代が変わっても変わらない大切な価値として、次の50年に向けて守り続けていくべきものではないでしょうか。

～被災写真をボランティアの力で救う～ 課外のあらいぐま



「課外のあらいぐま」は、被災地に行かなくてもできる災害ボランティアです。水害などで濡れて汚れてしまった写真を洗浄し、持ち主に返却する活動をしています。世田谷ボランティアセンターでも、毎週欠かさずいらして活動しています。

設立は東日本大震災後、津波で流されてしまった写真を洗浄するためにたち上がった「あらいぐま作戦」に代表の福井さんが参加されたことが始まりです。しばらく活動した後に「あらいぐま作戦」は解散し、作業を引き継ぐ形で2012年に「課外のあらいぐま」の活動を開始しました。西日本豪雨や、2019年の台風19号（多摩川流域）で被災した写真の洗浄

にも取り組んできました。そして、今は能登半島地震で被災された方の写真を預かり洗浄しています。代表の福井さんが「あらいぐま能登」を設立して、被災者の方から写真を預かり、あらいぐま能登から東京に写真を送ってもらい、課外のあらいぐまの活動で洗浄しています。写真洗浄はどこでもできるので、全国に写真洗浄活動があるそうです。

「大抵の方は、写真が濡れてしまつと諦めて捨ててしまつと思えますが、すぐ乾かせば救えることを多くの方に知ってほしい」と副代表の松浦さんは願っています。近年の極端な天候で、今年も災害が起きないか心配とのこと。「写真などの大切なものは高いところや2階などに上げたり、スマートフォンでもいいので写真に撮ってクラウド上に保存しておくことをオススメします」と教えてくださいました。

写真洗浄の内容は、濡れた写真はそのままにしておく画像が劣化してしまうため、よく乾かしたあとにアルバムから1枚1枚写真

を剥がし、水洗いします。エタノールで綺麗に拭いたあと、新しいポケットアルバムに収納し、あらいぐま能登へ返送。その後、持ち主の方の手に戻ります。泥まみれで諦めていた写真がきれいになって戻ってきたことにとても喜ばれるそうです。

災害ボランティアは、一般的に被災地に行って活動するイメージが強いと思いますが、写真洗浄は被災地に行かなくてもできる被災地支援の活動です。学生から高齢の方まで、幅広い世代のボランティアの皆さんと和気あいあいとおしゃべりしながら活動しています。コツコツと作業ができる方がいらしたらぜひ参加してほしいとのことでした。



被災した写真を洗浄しているワッシーン



世田谷エリア自立支援協議会主催
シンポジウムの報告

ゆきまこと
ご講演された湯浅誠さん

世田谷エリア自立支援協議会は「ぽーとせたがや」が事務局を担い、世田谷地域の関係機関、障害のある方と共に「希望をもって暮らすことができる地域づくり」を目指し、活動しています。今年度は「障害のある方、家族、支援者も「困った」を話せる関係づくりのためにできることを考える」を重点項目として、障害のある方が安心して立ち寄り、話すことができる居場所づくりに取り組んでいます。

取り組みの一環として2025年5月20日（火）に「障害、高齢、若者、こども、誰でもウェルカムな居場所のつくり方」をテーマにシンポジウムを開催しました。当日は障害のある方、居場所づくりに取り組んでいる方など93名にご

参加いただきました。

NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ理事長の湯浅誠さんを講師でお招きし、「誰でもウェルカムな居場所のつくり方」の講演とエリア自立支援協議会による実践報告を通して、居場所の意義やどのような場を地域の中に作っていけばよいが、多分野の皆様と考える機会となりました。

講演では多くの人にとって職場、家庭、学校などたくさん居場所があるとよいこと、少なくとも一つの居場所「どこか」が必要で、どこもなければどこかを創ること。それが居場所づくりである、というお話がありました。

エリア協議会の実践報告では、障害のある方やそのご家族へのアンケート結果から、相談は身近な人に行うことが多いことがわかったこと、障害のある方やご家族が無理なく主体的に立ち寄ることができる、参加することができる「よりどころ」（居場所）を開催し、参加した方の声を聞きながら安心できる居場所などを増やすべく取

り組んでいることが報告されました。

シンポジウムのアンケートでは、「これからの居場所づくり、方向性、運営の上でも役に立つお話だった」、「居場所に必要大切な要素を聞くことできた」とのお声をいただきました。

地域に居場所が増えても家から出られない、にぎやかな場所が苦手という人もいます。誰かにとって一つの「どこか」となりうる居場所づくりを考えるシンポジウムになりました。シンポジウムでの学びや気づきを活かし、ぽーとせたがやでも「スペース ココカラ」の活用、地域の方々と連携しながら、居場所づくりに取り組んでいきます。



シンポジウムの様子

囲碁の対局相手を募集中

桜上水4丁目にお住いの90歳の男性の方が囲碁の対局相手を求めています。人と会話をするのが好きな穏やかな方です。以前はあちこちに対局に出掛けることが出来ましたが、現在は足が不自由になり、思う様に出掛ける事が出来なくなった為、対局相手のボランティアを探しています。詳細はお問い合わせください。

- 日時／第1・第3土曜 13時30分から2局
- 場所／桜上水4丁目 交通／京王線桜上水駅下車
- 条件／3段以上の方で男女不問です
- 問合せ／北沢ボランティアビューロー 担当 近藤 TEL：03-3420-2520
メール：kitabora@otagaisama.or.jp

高齢・障害者デイサービスの外出援助をしていただける方を募集！

「ケアセンター with」は、世田谷ボランティア協会が運営する外出プログラムを中心としたデイサービスで、高次脳機能障害・若年性認知症など障害特性に応じたプログラムを実施しており、外出の際に車椅子を押してくれる方、利用者の方に付き添って一緒に歩いてくれる方を募集しています。外出先は、公園・美術館・ショッピングモールなど、季節に応じて外出先が変わり、どこに行くかは利用者の皆さんと決めています。詳細はお問合せください。ご応募お待ちしております！

- 日時／月～土曜 10時から14時ごろ
- 場所／ケアセンター with (世田谷区下馬 3-22-13 サザン三軒茶屋 1F)
- 交通／東急田園都市線・東急世田谷線 三軒茶屋駅下車徒歩約20分
- 条件／昼食支給
- 問合せ／ケアセンター with 担当 辻川 TEL：090-8452-8924
メール：tsujikawa@otagaisama.or.jp

小学校3年生といっしょに勉強をしてくれる女性募集中！

駒沢公園近くにお住まいの小学校3年生の女の子が特に漢字で苦戦しています。明るい女の子です。宿題などに楽しく取り組めるよう、女の子のペースに合わせて一緒に勉強をしてくれる方、ご連絡お待ちしております。詳細はお問い合わせください。

- 日時／月・火・木・金の16時～17時 (月2～4回 1回1時間)
- 場所／駒沢公園近くの自宅
- 交通／東急田園都市線駒沢大学駅 ●条件／女性 (数名募集)、交通費応相談
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー TEL：03-3707-3528
メール：tamabora@otagaisama.or.jp

千歳台福祉園の秋桜祭のボランティア募集

知的障害者の通所型・生活介護施設である世田谷区立千歳台福祉園で開催する秋桜祭(コスモスまつり)のボランティアを募集します。秋桜祭では様々な催しや企画をしており、ご利用者やご家族をはじめ地域の方々に楽しんで頂けるようなお祭りを開催したいと思います。そこで催し物の手伝いをして下さる方を募集致します。利用者の方と一緒にお祭りを盛り上げてくださる方、大歓迎です。

- 日時／9月20日(土) 9時30分～16時(予定)
- 場所／世田谷区立千歳台福祉園 (世田谷区千歳台 3-31-9)
- 交通／①小田急線千歳船橋駅から京王バス千歳烏山行き 5分 廻沢(めぐりさわ)下車すぐ
②京王線千歳烏山駅から京王バス千歳船橋行き 10分 千歳台2丁目下車すぐ
- 条件／謝礼あり(当日の飲食チケット)、上履きとボールペン持参
- 問合せ／社会福祉法人せたがや榎の木会 千歳台福祉園 担当 梅澤・伊能・國木
TEL：03-3789-9801 メール：chitosedai@themis.ocn.ne.jp

「フリースクール僕んち」のボランティア募集！

学校以外の、子どもの自由な学び・育ちの場。不登校を選んでいる子どもの選択肢のひとつ。自分らしく、伸び伸びと過ごせる居場所。そんなつもりで、31年間、こじんまりと運営してきたのが「NPO フリースクール僕んち」です。

「僕んち」では、常に子どもや若者と寄り添い、元気や不元気を分かち合え、一緒に何かを産み出せる人材を求めています。具体的には、ものづくり・料理・ゲーム・多様な学び・アウトドア・合宿・キャンプなどなど、多岐にわたります。資格や肩書は要りません。あなたらしい魅力で「僕んち」を手伝ってくださる方を募集しています。なお、スタッフ候補として興味をお持ち方は、採用を前提としたインターン生になっていただくこともあります。詳しくはお問合せください。

●日時／随時

●場所／フリースクール僕んち（世田谷区代田 4-32-17 サンハイツ B）

●交通／小田急線梅ヶ丘駅、世田谷代田駅、京王井の頭線東松原駅下車
徒歩各約 10 分

●条件／交通費支給

●問合せ／NPO フリースクール僕んち 担当 タカハシ

TEL：090-3905-8124

メール：fsbttoru@yahoo.co.jp



麻雀ボランティア募集

砵愛の園のご利用者の麻雀相手を募集しています。ボランティアの参加も不規則なため職員が入ることもあり、業務に支障が出てしまうためボランティア 1 名を募集しています。難しい点数計算などはなく楽しく対局するのみです。詳細はお問い合わせください。

●日時／毎週火・金曜日 13 時～ 15 時

●場所／砵愛の園

●交通／小田急線祖師ヶ谷大蔵駅下車徒歩 15 分、または東急バス成育医療センターバス停から徒歩 3 分

●問合せ／砵愛の園 担当 船越

TEL：03-5429-6433

メール：funakoshi.f.ainosono@seikyusyu.or.jp

家事をサポートしてくれる女性を募集します！

東玉川にお住まいの目の不自由な 80 代の女性が、家事をサポートしてくれる方を探しています。野菜を切ったり洋服をたたむ、ネットショッピングなど一緒にお手伝いしていただくと助かります。活動日と時間は相談して決めたいと思います（1 回 2 時間程度）。女性の方のご応募お待ちしております。

●日時／月～土曜日（時間は要相談）日曜日（午前中）、月 1 回～

●場所／東玉川の自宅

●交通／東急東横線・目黒線田園調布駅徒歩 15 分ほど

●条件／報酬：1,200 円 / 1 時間、女性の方限定

●問合せ／玉川ボランティアビューロー TEL：03-3707-3528

メール：tamabora@otagaisama.or.jp

【第一報】北沢ボランティアビューロー改修工事に伴う長期休館のお知らせ

北沢ボランティアビューローの建物の老朽化に伴い、2025 年 9 月から 2026 年 3 月末まで改修工事を行い、工事中は会議室の貸出を休止し、仮事務所に移転する予定です。詳細は追ってお知らせいたします。

上記掲載記事は 7 月 20 日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

発達障害の子どもをもつ保護者の会「チーム OK」 参加者募集

毎月第2火曜日に上北沢ふれあいの家（上北沢 3-26-4）で開催している「チーム OK」が、地域に出張してきます！子育ての悩みや子どもの発達のことについて話したい保護者が情報交換する場です。普段は上北沢地区で活動していますが、夏休み一日限りの発達凸凹カフェです。子育ての悩みを話しながらひと息つきませんか？

※「チーム OK」は、発達障害の子どもを持つ保護者の会です。

- 日時／8月26日（火）13時～16時
- 場所／成城六丁目事務所棟 1階成城まちづくりセンター活動フロア（成城 6-3-10）
- 交通／小田急線成城学園前駅徒歩3分
- 参加費／200円
- 問合せ／砧ボランティアビューロー準備室 担当 久我
TEL：03-6411-4007 メール：kinutabora@otagaisama.or.jp

災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編）@国土館大学

2025年度2回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編」を国土館大学にて開催します！内容は講義と模擬訓練で、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

- 日時／9月13日（土）13時30分～16時30分 ※13時より受付開始
- 会場／国土館大学梅ヶ丘校舎34号館（梅丘 2-9-1）
- 交通／小田急線梅ヶ丘駅徒歩9分 ●参加費／無料
- 申込／8月1日（金）～9月11日（木）までに、右記の二次元コードから、またはメールか電話にてお申し込みください。
メール件名に「9/13 養成講座申込」とし、本文に「氏名」、「住所」、「当日連絡のつく電話番号」をご記載ください。
- 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター TEL：03-5712-5101
メール：saigai-info@otagaisama.or.jp



医療的ケア児と家族のためのポニーとゆったりふれあい体験

医療的ケア児とそのご家族の為にポニーとのふれあい体験を実施します！「ポニー」は体高147cm以下の小型の馬のこと。人なつこくて、とてもかわいい動物です。そんなポニーと楽しいふれあいの時間を過ごしませんか？ポニーにさわったり、ニンジンをおげたりすることもできます。医療スタッフのサポートもありますので、安心して体験いただけます。

- 日時／9月23日（火・祝）10時～15時（この間で時間指定、1家族25分程度）
- 場所／国立成育医療研究センター中庭（世田谷区大蔵 2-10-1）
- 交通／小田急線成城学園前駅より東急バスで約15分「成育医療研究センター前下車」すぐ東急田園都市線用賀駅より東急バスで約20分「成育医療研究センター前」下車すぐ
- 参加費／1名あたり1,500円（当日お支払い）
※お申し込み時に希望時間帯を選択
- 申込／受付期間：8月18日（月）17時まで（申込多数の場合は抽選）
右記二次元コードからお申し込みください
- 問合せ／公益財団法人ハーモニーセンター 担当 三田
TEL：03-3469-7691
メール：info@harmonycenter.or.jp



「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

＜ミニレポート＞世田谷区主催「ボランティアセミナー&相談会」に登壇しました！

7月5日(土)、成城ホールにて、世田谷区(市民活動推進課)主催「ボランティアセミナー&相談会」が開催され、『ボランティアのはじめ方、マッチングサイトの紹介』に登壇しました。当協会の紹介と、世田谷ボランティアセンターを利用されている「JCA 千歳船橋」と「課外のあらいぐま」の2団体をお招きし、各団体の活動を紹介いただきました。

その後、『ボランティア相談及び来場者間マッチング』では、個人や団体から当協会への相談、両団体へ直接の相談などがあり、次へのステップにつながったようでした。ご参加くださった方々、ありがとうございました。



市民活動・NPO相談

世田谷区内で活動を始めたい方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。相談をご希望の方はお問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。(原則として事前予約制です)

●問合せ/最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください。

電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください。

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ぜひご相談ください。電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101

メール: v-soudan@otagaisama.or.jp

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦勞をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重していきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101

メール: v-soudan@otagaisama.or.jp

AI システムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAIシステムによるマッチングサイト(世田谷版G B E R「ジーバー」)で結び付け、経験や希望に合ったボランティア活動を紹介します。

詳細は右記二次元コードからご覧ください。



上記掲載記事は7月20日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点



相談・お問い合わせ先

- ボランティアについて ▶ 【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】
災害ボランティアについて ▶ 【せたがや災害ボランティアセンター】
リハビリについて ▶ 【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】
訪問介護について ▶ 【ケアステーション連】
介護プランについて ▶ 【ケア相談センター結】
障害について ▶ 【ぼーとせたがや、スペース ココカラ。】

協会職員大募集！
作業療法士 訪問介護員
支援員 相談員

寄付で社会を救え

ご寄付のお願い

お支払い方法が
選べます。

- ・ クレジットカード
- ・ Amazon Pay
- ・ 銀行振込

寄付金控を受けられます



ホームページ



Facebook



Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。